

ききょう

沼津市立大岡南小学校
平成20年4月26日 第3号
TEL962-0355 FAX962-7644

[学校教育目標] 健康で豊かな心を持ち、自分を伸ばす南っ子の育成
[児童の合い言葉] なかよく、かしこく、元気よく

鉛筆を使うという意味

子供の学力や生活態度をとらえる方法の一つに「筆箱の中味」があります。

総じて、筆箱の中が、いわゆる「おもちゃのような文具」を使用している子供は学力が低いとされています。

キャラクター商品なども同様です。きちんとした学習用具をそろえるということは、学力を向上させる上で極めて重要なことの一つです。

本校では、鉛筆を使うことを指定しています。字を書くのには、鉛筆が一番いいのです。

指先は第2の脳と言われています。濃い鉛筆で筆圧をつけながら書くことで脳を鍛えます。

しかし、シャープペンはどうでしょうか。

シャープペンで筆圧を加えるとすぐにおれてしまいます。

「折れる→芯を出す」この行為で思考がとぎれ、考えが浅くなります。また、鉛筆よりも字が薄くなり、ていねいな文字を書くことができなくなります。

小学校の時から、シャープペンを使う子どもは、鉛筆を使う子どもより平均点が低くなるという事実もあります。また、授業中にシャープペンを分解したことがある方もいるでしょう。

鉛筆を使うということは、少しでも学習に集中できるように配慮したものです。

学校は勉強をするところです。少しでも、学習への集中を阻害するものは排除した方がいいのは当然です。

たかが、筆箱の中味、されど、筆箱の中味です。

今、ここに書いたようなことは、少し前まで、日本中どの学校でも、当たり前のことでした。

一般的に、ここ数年、そのようなしつけがゆるんできたように思います。

また、きちんと鉛筆を使わせたいものです。

美しい文字を書くには、正しく鉛筆を持つことが重要です。

下に、正しい鉛筆の持ち方を覚えるための方法を載せました。参考にしてください。

